



進路だより

未来へむかって

発行者 新潟県立小出特別支援学校 川西分校 進路指導部

1年生出陣!! 初めての職場実習をがんばりました。

2学期が始まり、あっという間に2ヶ月が過ぎようとしています。今週末には文化祭です。様々な行事があり慌ただしさがある中ですが、一つ一つが大切な学習の機会です。一つ一つの行事を「とりあえずがんばりました」ではなく、「一生懸命がんばりました」そして「〇〇はできた、次は◇◇ができるように練習する」と確認と準備をしながら次の活動に向かってほしいと思っています。その積み重ねが、社会で生きる“確実な力”になっていきます。

様々な活動がある中、1年生が初めての職場実習(ふれあいジョブ)にチャレンジしました。保護者の皆様ご協力ありがとうございました。

一人で事業所へ行き、出勤時の挨拶、着替え、業務確認、時間内の業務継続、退勤時の挨拶、帰校等々に取り組みました。始めは緊張してしまうような行動ができなかった生徒が、笑顔で業務に関わったり、自分から大きな声で挨拶ができたり、また業務に対する責任に気付かされたり、帰校のバスに一人で乗れたり等、素晴らしい経験と成長ができたと思います。生徒の顔つきも自信を得た表情となりました。

全4週の活動も終了しました。ご多用の中、生徒のために貴重な学習の場を提供していただいた事業所の皆様には本当に感謝申し上げます。地域の皆様からの協力が無ければできない学習です。今後も皆様からご支援、ご協力をいただけると幸いです。よろしく願い致します。



ふれあいジョブにご協力いただいた事業所を紹介します。

特別養護老人ホームあかね園 小嶋屋総本店 サカエテクノ新潟工場
ワークセンターかわにし ワークセンターあんしん キナーレ明石の湯
ほくほく線十日町駅 HIRASEI遊TSUTAYA十日町店★ わっかふえ
エンゼル妻有 なごみの家 まほろばの里川治

★印は新規協力事業所です。

※商号略 学校に近い事業所から記載

実習だけでなく様々な経験や学習したことを、学校生活、社会生活、家庭生活で自分から取り組めるようにし、当たり前になるまで熟練させてほしいと思っています。そして社会で生きる力にしてほしいと思います。そのためには毎日の学校での学習、繰り返しの取組が大切です。1日1日を大切にしてください。保護者の皆様ご支援のほどよろしくお願い致します。

次のページに実習の様子を掲載しました。ご覧ください。

ふれあいジョブの様子 ~実習の一部を紹介します~



老齢福祉施設での
清掃作業



老齢福祉事業所での
食器洗い



温泉施設の厨房での
下準備作業



就労継続支援B型施設の
製品形成作業



就労継続支援B型施設の
正月飾り封入作業



書籍店での在庫管理作業



鉄道会社での
車両位置確認作業



就労継続支援B型施設の
米飯計量作業



就労継続支援B型施設の
フィルム整理作業



就労継続支援B型施設の
正月飾り封入作業



蕎麦製造工場での
麵つゆ箱詰め作業



ふれあいジョブ終了後の
学校への帰校の様子です。

現場実習は長期間にわたって業務をすることになります。体調管理が大切です。そして、現場の方から任されることに一生懸命応えることが大切です。毎日の業務がしっかりできるように気持ちの準備もしていきましょう。



「学校生活」から「職場生活」へ向けて…。

実習の巡回時に、ある会社の方からこんなことをお話しいただきました。



「実習に来ている生徒には、働くという意味を考えてほしい。

今はどこの事業所も経費を削減し、従業員が何とか成果(利益)を上げようと頑張っています。簡単に休めるものではないし、出勤した時には一生懸命に仕事に取り組んでもらいたいです。現場の皆さんと一緒に仕事をする上では、挨拶や返事、謝罪など自分で伝えることも大切です。そこをしっかりと勉強してほしい」

事業所から働く人へ求めたいことへの“思い”を教えてくださいました。この言葉の中には、業務の専門性や特殊性、作業能率の話はありません。しかし、「職場生活」の基礎に関わる大切なことです。どんな職場でも求められる内容だと思いました。実は別の会社の方や福祉事業所の方からも同様のことを聞いたことがあります。

業務の専門性や特殊性、現物を使用した作業能率は、現場に実際に行つての取組、経験によって磨かれていきます。しかし、「職場生活」の基礎となるものは、「学校生活」でも十分に鍛えられ、定着していきます。

高等部の「学校生活」は、卒業後の社会生活へ向けた直前のトレーニング期間になります。休まずに学習を続け、様々なことに取り組み、繰り返していくその過程が生徒を成長へと導きます。「疲れたので休みます」「気が進まないので作業ができません」「迷惑掛けた(失敗をした)時に謝れない」という様子が見られると、将来周囲から信頼されず、最終的には本人が困ってしまうことが予想されます。事業所の方はそこを心配して教えて下さったのでしょうか。



個々の実態から難しい部分があるかもしれませんが、自分自信の体調、心身の状態を理解し、調整しながら取り組んでくることが大切です。保護者の皆様からも状態や課題を把握していただき、目標に向かって一歩ずつ進めるようご支援をお願いします。

“毎日の「学校生活」をしっかりと取り組む”、“取り組めるために準備をする”、“生活サイクルを整える”、“様々な活動に向き合う”ということに目を向け、できることからちよつとずつ身に付けていきましょう。

新潟県立小出特別支援学校 川西分校

進路教室のご案内

今月のテーマは、卒業後の具体的な進路についてとふれあいジョブの様子についてです。

生徒の進路希望変化しています。そこで見えてきているのが、「現在の実態」と「希望する進路から求められる力」とのギャップです。現状としては職場実習の取組も危ぶまれる状態があります。

手続きの違いを話題にすることはもちろんですが、福祉サービスの利用、企業就労、進学それぞれの進路にどんな力が求められるのか、また、卒業した後の社会での環境はどのようになっているのか、生徒の成長スピードと残された在学期間で何を学習するのかなど、話題にしていきたいと考えています。

ご多用の時期かと思いますが、保護者の皆様からぜひ参加いただければと思っています。卒業後の生活を考える機会にして下さい。

また話題以外にも疑問があれば、ぜひお話し下さい。色々な視点から、参加する皆さんで話ができればと思います。多くの皆様からの参加をお待ちしています。

10月の進路教室

期 日	内 容
10月26日 (木)	・卒業後の「福祉サービス利用」「企業就労」、「進学」について ・後期ふれあいジョブについて ~写真を通して~

<時間> 13:30~15:00

<場所> 音楽室 (授業のため場所が変更の場合には、当日玄関でご案内いたします)



不明な点があれば、いつでもお問い合わせください。

新潟県立小出特別支援学校川西分校

TEL 025-768-3325

FAX 025-768-3371

担当:進路指導部 細井哲明 齋木秀夫
佐藤正高 黒木里佳

